

4年ぶりにワンちゃんたちがやって来た！

初冬の11月29日(水),緩和病棟(C棟)にてアニマルセラピーが開催されました。コロナ禍でしばらく中止となっていたのですが、ようやく4年ぶりに行うことができたのです。

今回セラピー犬として来てくれたのは、柴犬のトワくんとラブラドルのリンちゃんです。この2頭は、以前に何度も病棟の患者さんやスタッフを癒してくれているベテランのワンちゃんたちです。当日、スタッフ迎えられながらC棟の待合室に着いた2頭は、さすがにセラピー犬、もちろん暴れることも吠えることもなく、スタッフさんと一緒に静かにおとなしく自分たちの出番を待っているかのようでした。

今回セラピーを受けられた患者さんは3名で、そのうち1人の患者さんは「家で柴犬を飼っていた」「動物が好き」と話し、ご家族とともにとても楽しみにされていました。

ワンちゃんたちは1頭ずつスタッフとともに病室を訪れ、10分～15分程度患者さんと触れ合いました。ラブラドルのリンちゃんは芸を披露して、その後に患者さんがおやつをあげたりしました。また柴犬のトワ君はスタッフに抱えられなが



ら患者さんと触れ合い癒しを与えてくれました。患者さんからは、「ずっといて欲しい」、「かわいい!」「来月もやって欲しい」などの感想。ご家族からは「久しぶりに笑顔が見られた」、

「アニマルセラピーを希望していたので、受けられてよかった」との声がありました。最初はそんなに気乗りのしなかった患者さんも含めて全員に笑顔になってもらえたことは大変嬉しい事でした。

トワ君、リンちゃんありがとう！お疲れ様でした。アニマルセラピーのスタッフの皆さん、C棟のスタッフの方々、ボランティアの皆さんお世話になりました。また次のアニマルセラピーを心待ちにしたいと思います。

